



時事評論家 増田俊男

政治力学

政治力学第一条：軍事力、

政治力学第二条：ブラックメール（Blackmail＝脅迫）

政治力学第三条：策略（騙し）

政治は「手段」であり「目的」は生命・財産保全を含む「国益」である。

政治目的達成の為の手法は上記三つだけ。「軍事力」、「脅迫」、「策略」。

「平和外交」という名の「交渉」は相手から国益を得るために軍事力を使うか、脅迫を使うか、騙すか、それとも全手法か、最善の手法を決定するための「探り」であり決して目的達成の手法ではない。戦後日本外交の基本になってきた「国連外交」は、憲法第九条により軍事力と脅迫という国益追求と保全の為の手法が禁止され国民に対して無責任国家になった日本が国連と言う「美名」に隠れて、「国民に（国益のために）正しい手法を執っていると思わせる「ごまかし外交」。

利害関係が異なる五カ国が拒否権を持つ国連の意思決定機関の安全保障常任理事会は国際問題解決には無能、無機能であるからアメリカは国益のための他国への軍事攻略において常に安理無視で臨んだ。国連は自国のプロパガンダ（政略的公示）の宣伝の場以外の何ものでもない。

上記の政治力学の現実から、「ギリシャの国際的ブラックメール（脅迫）」について述べる。

ギリシャは2011年10月財政破綻危機に陥り総負債の50%を減免（ヘアカット）した上で負債の75%に当たる€320 billion（約48兆円）の救済をIMF（国際通貨基金）、EC（欧州連合）、EFSF（欧州金融安定ファシリティ＝ユーロ加盟国保証）のトロイカから得たが同支援プログラムの期限は本年2月末になりギリシャに返済能力は無く、支援の延期がなければ債務不履行、ユーロ圏脱退が余儀なくされることになった。ギリシャのチプラス新首相はトロイカからの債務を減免し、支援の担保条件である緊縮財政等の条件無視を公約として当選した。前記支援プログラム延長交渉に当たりドイツ主導の債権者側（EU等）は従来の支援条件順守を求め、ギリシャは拒否。しかし2月22日支援を4カ月延長、ギリシャからの条件を今週から検討する内容が決定。

「先ず支援延期ありき」だからチプラス首相は同日「勝利宣言」をした。

ギリシャを勝利に導いたブラックメール（脅迫）

ギリシャはウクライナ同様東西冷戦（ロシアとアメリカ支援 NATO）における地政学上最重要拠点あることを利用、終始欧米に圧力を掛けた。

1) ギリシャのコジアス外相・ロシアのラブロフ外相会談（11日）でロシアはギリシャ支援を提案。2) EUのウクライナに関するロシア追加制裁にチプラス首相反発（27日）でロシア寄りを演出。3) ギリシャとウクライナを占領したヒトラー（ナチス）から受けた損害賠償金（22兆円相当）の請求検討をギリシャ外相がドイツ外相に伝達（10日）でEU最大発言力国ドイツに歴史的圧力を掛けた。

「ギリシャが皆様のEUを脱退してロシアの保護下になってもいいんですね」。

このギリシャのブラックメール（脅迫）に欧米は全く無力であったのである。

「本来取れないモノをもぎ取って国益に資する」、これが国家の国民に対する責務である。その点北朝鮮もギリシャに劣らぬ政治国家である。

日本の政治家の皆様のご参考になれば幸い至極。

増田俊男の小冊子 Vol.65 好評先行受付中！

「もう始まっている東西冷戦」

現在増田俊男の小冊子 Vol.65 「もう始まっている東西冷戦」を好評先行受付中です！*冷戦の本質と目的*異なる東西冷戦戦略*冷戦に向かって草木もなびく*冷戦後の新世界青写真*冷戦で変わる資産価値という内容です。発送開始は2月26日頃に変更となります。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03-3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。